

# 平成18年3月期 決算説明会

平成18年5月18日(木)  
経団連会館902号室(桃山)



社会とくらしのパートナー

伊藤忠エネクス株式会社

# CONTENTS

## 平成18年3月期の決算説明

発表者：取締役(兼)常務執行役員 CFO  
有満 修司

## 平成19年3月期の見通し

発表者：代表取締役社長  
山田 清實

# 平成18年3月期の決算説明

発表者：取締役(兼)常務執行役員 CFO  
有満 修司

## CONTENTS

ハイライト

連結決算概要

連結損益計算書

連結貸借対照表

連結キャッシュフロー計算書

油種別販売数量

セグメント別情報

平成19年3月期業績予想

# ハイライト

## 過去最高の売上高

連結売上高 7,718億円

## 過去最高の販売数量

ガソリン	:	288万kl
灯油	:	174万kl
軽油	:	245万kl
重油	:	181万kl
LPガス	:	104万t

## 連結当期純利益のV字回復

+ 87.44億円 (平成17年3月期比)

## 過去最高の利益配当

通期配当金 12円 16円予定

# 平成18年3月期 連結決算概要

## 連結業績は大幅増収・大幅増益

### 連結業績

(単位:百万円)

	H17年3月期	H18年3月期	増減額	増減率
売上高	635,230	771,894	136,664	21.5%
営業利益	6,826	6,824	2	0.0%
経常利益	8,678	8,576	102	1.2%
当期純利益	4,083	4,661	8,744	

# 平成18年3月期 連結損益計算書

## 過去最高の売上高

連結損益計算書（株東海除く）

（単位：百万円）

	H17年3月期			H18年3月期		
	実績	(東海影響)	東海除く	実績	増減額	増減率
売上高	635,230	(20,479)	614,751	771,894	157,143	25.6%
営業利益	6,826	( 821)	7,647	6,824	823	10.8%
経常利益	8,678	(588)	8,090	8,576	486	6.0%
当期純利益	4,083	( 8,881)	4,798	4,661	137	2.9%

増減額、増減率は東海を除いた実績差異

【売上高】

原油価格の高騰に伴う販売単価の上昇と販売数量増により大幅増収

【営業利益】

LPガスの価格転嫁苦戦および新規連結子会社経費増による

【経常利益】

持分法投資利益の増加と金融収支の改善

【当期純利益】

固定資産売却益等の減少と、減損等の特別損失増加による

# 平成18年3月期 連結貸借対照表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	H17年3月期	H18年3月期	増減額
流動資産	120,784	131,036	10,252
固定資産	109,507	104,583	4,924
流動負債	117,299	123,395	6,095
固定負債	34,993	33,216	1,776
少数株主持分	5,109	762	4,347
資本	72,889	78,245	5,355
負債及び資本合計	230,292	235,619	5,327

## 主な経営指標

	H17年3月期	H18年3月期	増減率
ROA(総資本経常利益率)	3.8%	3.7%	0.1%
ROE(株主資本利益率)	5.4%	6.2%	
1株当り当期純利益	46.56円	49.70円	

# 平成18年3月期 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	H17年3月期	H18年3月期	増減額
営業活動CF	16,326	6,304	10,022
投資活動CF	7,596	8,652	1,056
フリーCF	8,729	2,347	11,076
財務活動CF	11,133	511	11,644
現金及び現金同等物の期末残高	28,031	26,364	1,667

【営業活動CF】

原油価格上昇による売買所要資金の増加及び法人税等の増加

【投資活動CF】

営業用設備の増強及び営業権の購入

【財務活動CF】

売買所要資金の増加に対応して借入金を調達



# 油種別販売数量(連結)

## 過去最高の販売数量

(単位:千kl、千トン)

油種	H17年3月期	H18年3月期	前期比(増減率)
ガソリン	2,829	2,889	2.1%
灯油	1,706	1,741	2.0%
軽油	2,449	2,455	0.2%
重油	1,705	1,810	6.2%
燃料油合計	8,689	8,893	2.3%
アスファルト	256	266	3.9%
LPガス	1,010	1,041	3.1%
総合計	9,955	10,202	2.5%

【ガソリン】

小倉興産エネルギー(株)含む新規系列化の販路拡大

【重油】

小倉興産エネルギー(株)の販売数量が寄与

【LPガス】

冬場の厳冬と、LPガス小売営業権の買収による(タキガワエネクス(株)他)

# セグメント別情報(連結)

(単位:百万円)

		産 業 マ テ リ ア ル	カ ー ラ イ フ	ホ ー ム ラ イ フ (株東海除く)	本 社 お よ び 消 去
売 上 高	H 1 7 年 3 月 期	85,253	446,669	82,829	-
	H 1 8 年 3 月 期	106,755	565,923	99,215	-
	増 減 額	21,502	119,254	16,386	-
	増 減 率	25.2%	26.7%	19.8%	-
営 業 利 益	H 1 7 年 3 月 期	1,629	7,134	2,262	3,378
	H 1 8 年 3 月 期	1,843	7,513	1,390	3,922
	増 減 額	214	379	872	544
	増 減 率	13.1%	5.3%	38.5%	16.1%

【産業マテリアル事業本部】

需要家への価格転嫁が一部を除きほぼ浸透し増収・増益

【カーライフ事業本部】

販売増と原油価格高騰により増収、価格浸透により増益

【ホームライフ事業本部】

LPガス輸入価格の歴史的な高騰による利幅の圧縮で減益

# セグメント別情報 - 産業マテリアル事業

## 増収・増益

実績（連結）

（単位：百万円）

	H17年3月期	H18年3月期	前期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	85,253	106,755	21,502	25.2%
営業利益	1,629	1,843	214	13.1%

需要家への価格転嫁が一部を除きほぼ浸透

販売数量（連結）

（単位：千kl、千トン）

	H17年 3月期数量	H18年 3月期数量	前期比 増減率
重油	1,022	929	9.2%
アスファルト	256	266	3.9%

環境面を考慮する需要家ニーズが、重油から天然ガスへの燃料転換により、重油の販売数量減

アスファルトの供給および、流通網の整備拡充が功を奏し、販売数量が堅調に推移

# セグメント別情報 - カーライフ事業

## 増収・増益

実績（連結）

（単位：百万円）

	H17年3月期	H18年3月期	前期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	446,669	565,923	119,254	26.7%
営業利益	7,134	7,513	379	5.3%

販売数量（連結）

（単位：千kl、千トン）

原油価格高騰と、価格浸透により増収、増益

	H17年 3月期数量	H18年 3月期数量	前期比 増減率
ガソリン	2,798	2,861	2.3%
灯油	1,317	1,401	6.4%
軽油	2,107	2,147	1.9%
重油	561	869	55.0%

販売施設数

（単位：カ所）

	H17年 3月期	H18年 3月期	前期比
給油所	2,148	2,157	9
（内、PB）	432	417	15
（内、セルフ）	245	306	61

記録的な寒波により、灯油の販売数量が増加  
小倉興産エネルギー(株)の重油販売数量(約25万kl)が加わる

# セグメント別情報 - ホームライフ事業

## 増収・減益

実績（連結）（ただし東海除く）

（単位：百万円）

	H17年3月期	H18年3月期	前期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	82,829	99,215	16,386	19.8%
営業利益	2,262	1,390	872	38.5%

LPガス輸入価格の歴史的な高騰が続き、卸・小売を含めた流通段階で厳しい収益環境

販売数量（連結）

（単位：千kl、千トン）

	H17年 3月期数量	H18年 3月期数量	前期比 増減率
灯油	144	136	5.5%
LPガス	881	906	2.8%

LPガス消費者軒数

（単位：軒）

	H17年 3月期	H18年 3月期	前期比
消費者軒数	240,177	267,837	27,660

島根県の瀧川産業(株)からの営業譲受をはじめとするM&Aによる販売数量・消費者軒数増

# 平成19年3月期 通期業績予想

## 連結業績予想

(単位:百万円)

	H18年3月期	H19年3月期	増減額	増減率
売上高	771,894	845,000	73,106	9.5%
営業利益	6,824	7,100	276	4.0%
経常利益	8,576	8,800	224	2.6%
当期純利益	4,661	4,800	139	3.0%

## 個別業績予想

(単位:百万円)

	H18年3月期	H19年3月期	増減額	増減率
売上高	652,435	694,000	41,565	6.4%
営業利益	4,734	3,500	1,234	26.1%
経常利益	6,080	4,400	1,680	27.6%
当期純利益	3,589	3,100	489	13.6%

# 平成19年3月期の見通し

発表者：代表取締役社長  
山田 清實

## CONTENTS

業界環境

中期ビジョン「創生2008」達成への布石

産業マテリアル事業の見通し

カーライフ事業の見通し

ホームライフ事業の見通し

その他方針

配当方針

株価の推移

# 業界環境

## 石油流通業界

原油高による販売価格の上昇  
買控えや省エネによるガソリンの需要減  
環境配慮により、産業用燃料がLNG・天然ガスへ  
大型セルフSS化へ加速

## LPGガス流通業界

LPGガス輸入価格の高止まり  
エネルギー間の垣根を越えた競争の激化



# 中期ビジョン「創生2008」達成への布石

エネルギー・車・家庭を核とした  
**複合エネルギー企業**の実現に向け、徹底した効率化を図る  
 お客様のニーズに迅速かつ柔軟に対応  
 グループあげてCSR活動へ積極的に取り組み

スローガン

変える

極める

創る

中期ビジョン「創生2008」  
 連結業績目標と進捗状況

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	ROA (総資本経常利益率)	総資産
H22年3月期目標	7,090	106	108	60	4.7%	2,280
H18年3月期実績	7,718	68	85	47	3.7%	2,356

H18年3月期売上高については原油価格高騰と販売数量増加による

# 産業マテリアル事業の見通し(平成19年3月期)

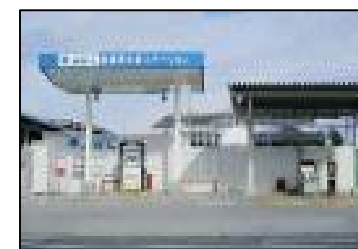
多様化する顧客ニーズに対応できるエネルギーソリューション事業を拡大

産業用燃料の新規取引先の獲得  
 エネルギーソリューションを新たな柱に  
 新部署を新設し、天然ガス・LNGの取引開拓  
 新商品事業の積極展開

(尿素水 / アドブルー、他)  
 次世代エネルギー(水素、DME他)への積極的  
 取り組み



販売好調な尿素水 / アドブルー



相模原水素SS  
 相模原水素コミュニティ研究会に参画

(単位:百万円)

## 連結業績予想

	H18年3月期実績	H19年3月期中間予想	H19年3月期通期予想
売上高	102,958	50,000	105,000
営業利益	1,790	500	1,250

# カーライフ事業の見通し(平成19年3月期)

カーライフ拠点・IT情報拠点・社会貢献拠点への変貌

量から質への構造転換によるSSの体質強化

大型セルフ化、油外収益向上

カード戦略拡大(お客様の固定化)

車関連事業の収益化確立

災害対応CSの拡充



カーエネクス  
災害対応ステーション



(単位:百万円)

## 連結業績予想

	H18年3月期実績	H19年3月期中間予想	H19年3月期通期予想
売上高	565,923	286,000	629,000
営業利益	7,513	2,450	7,550

# ホームライフ事業の見通し(平成19年3月期)

歴史的なCP価格高騰の継続による収益圧迫の改善が急務

新販社体制(12社 8社)による、コストの最適化と  
収益改善を図る

適正なM & Aによる事業基盤の拡大

キャンペーンや料理教室による

電化対策とイメージUP

HL九州と(株)イデックスガスとの合併に向けた  
具体策検討と日商LPガス(株)との提携強化



## 連結業績予想

(単位:百万円)

	H18年3月期実績	H19年3月期中間予想	H19年3月期通期予想
売上高	99,215	39,000	108,000
営業利益	1,390	550	2,900

20

# その他方針

会社法施行に伴い、**内部統制システム構築の基本方針**を決定

**コーポレートガバナンスの強化**

“安心・安全”をスローガンとした**CSR・コンプライアンス**の更なる浸透

**シナネン・日商LPガスとのシナジー戦略**

「やっぱりガスだね！！」キャンペーンの共同開催

**人材育成の強化**

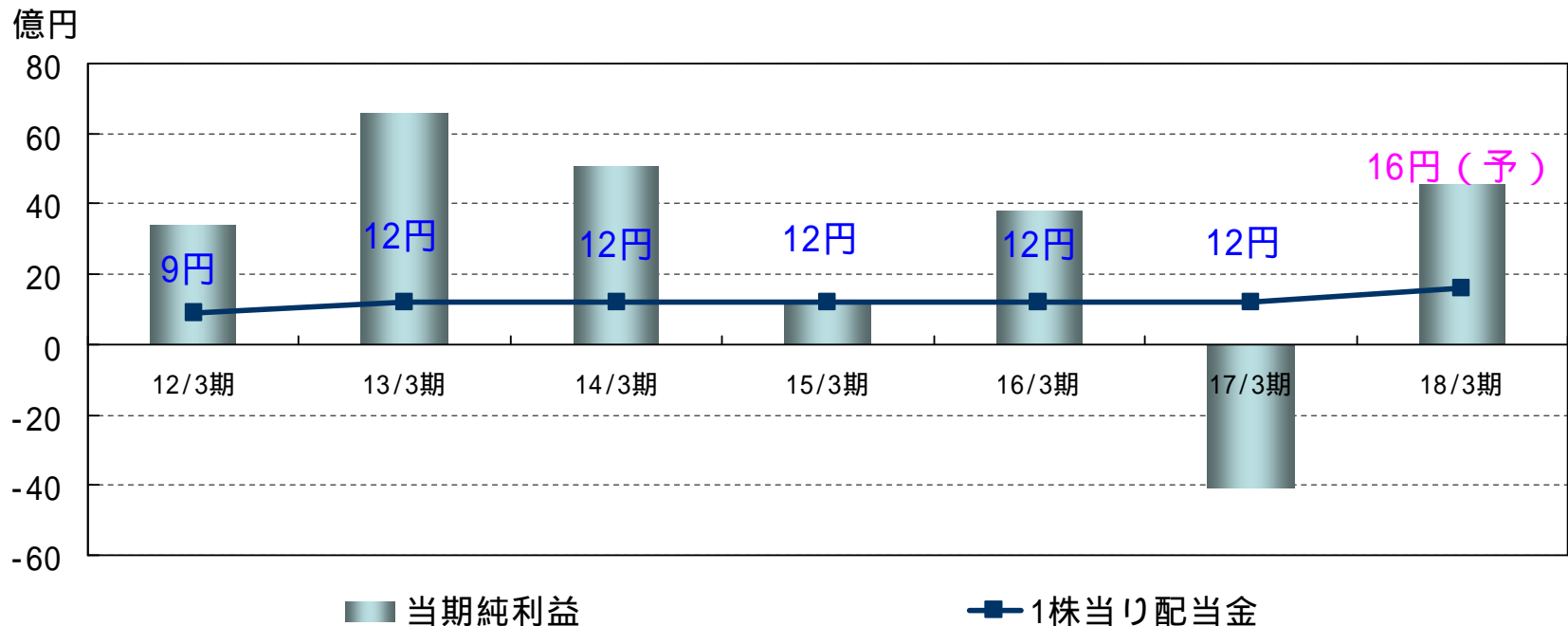
グループの階層別教育強化、**e-learning**の継続

**ITの積極展開**

新基幹システムの浸透による効率化・IT情報拠点へ

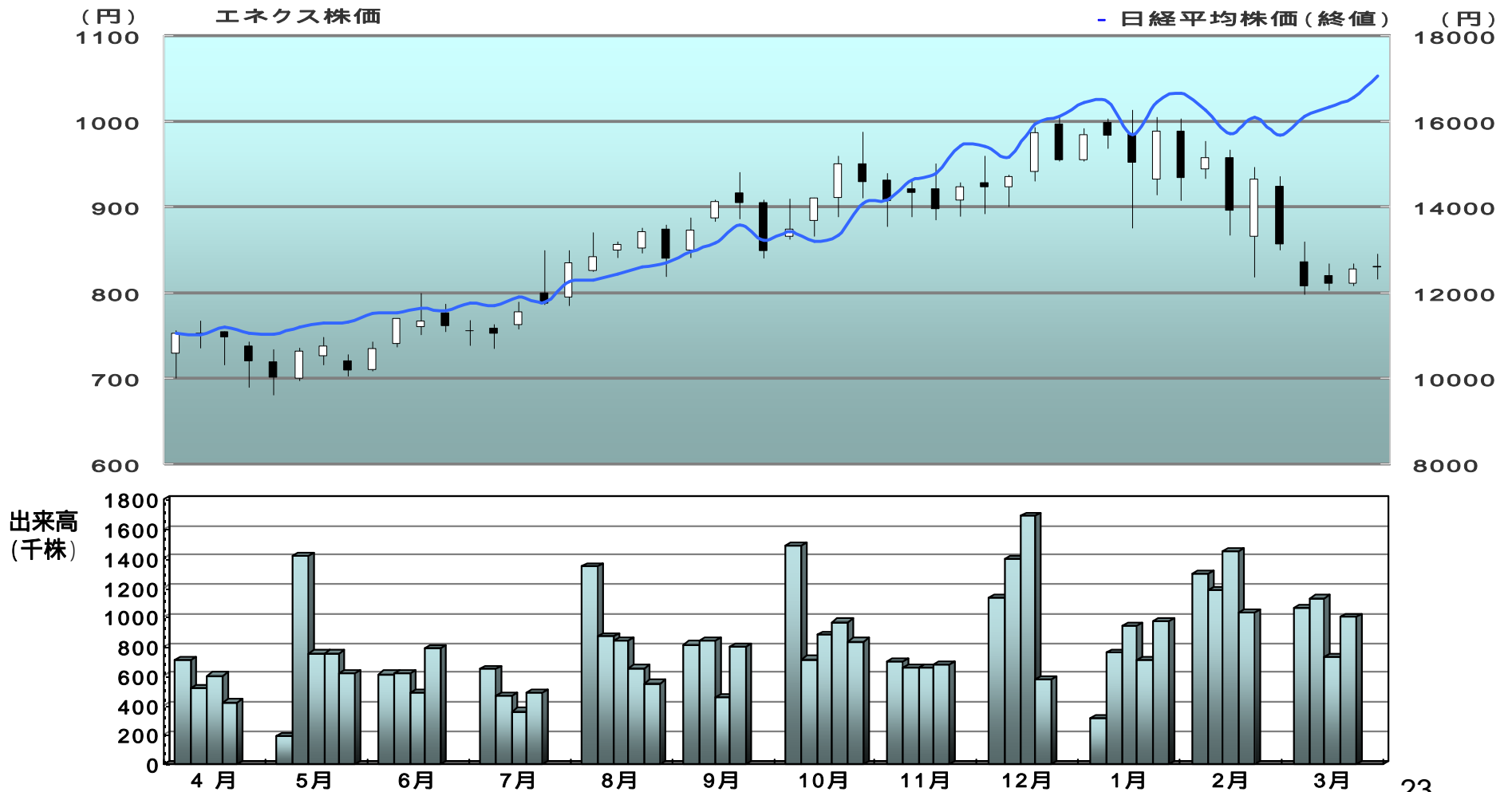
# 配当方針

経営環境の変化に対応した対策を着実に実行し、事業収益基盤の強化を図ることによる安定配当の実施  
H18年3月期中間より、**配当8円(前期比2円増)**  
**通期で16円(前期比4円増)実施予定**



# 株価の推移

エネクス株価と日経平均株価の推移および出来高 (平成17年4月～平成18年3月)



# ご清聴ありがとうございました

## ご注意

当資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。  
また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

投資を行う際には、必ず当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。また、内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績等に関する見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。  
従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。



# メール配信登録・モバイルサイトのご案内

当社ホームページからメール配信登録をして頂きますと、リリースとほぼ同時に最新ニュースがメール配信されますので、是非ご利用ください。

ホームページURL <http://www.itcenex.com>

エネクスホームページにアクセスし、トップページの「投資家情報メール配信登録はこちら」ボタンからご登録ください。



エネクスHPトップページ

携帯版モバイルサイトを開設！

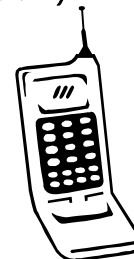
こちらでも随時ニュースリリースをメール配信しています！是非ご登録下さい。

携帯版モバイルサイトURL <http://m-ir.jp/c/8133/>

QRコードからもアクセス可能！



(カメラ付バーコードリーダーをお使い下さい)



## 問合せ先

今後、当社に関するご質問、お問合せ等がございましたら、下記の担当者までご連絡ください。

伊藤忠エネクス株式会社

IR広報室 高橋・秋山

TEL 03-5436-9356

FAX 03-5436-8235

メール [itcfhome@itcenex.com](mailto:itcfhome@itcenex.com)